# 12　センターサイディング
# NS型ネオスパン（イソシアヌレート品）補強工法

金属胴縁にセンターサイディングNS型ネオスパン（イソシアヌレート品）を施工する際の、補強ビスでの補強工法についてご案内しております。

# 12　センターサイディング補強工法

## 12－1　NS型ネオスパン（イソシアヌレート品）16m超え、30m以下の物件への施工　改訂のご案内

本ページ（P265）は、一部改訂のため、次ページ（P265-1）に更新しております。
最新の設計施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

- ●地域　　：全国（ALCは地域限定※1）
- ●構造　　：MARCシステム（RC造、ALC（挿入筋構法・ロッキング構法））
- ●建物高さ：30m以下　基準風速に応じた施工可否については下表を参照
- ●外装材　：NS型ネオスパン（芯材：イソシアヌレートフォーム（HFO））限定
- ●通気胴縁：金属胴縁15
- ●補強ビス：Φ4．5㎜×25㎜（JK1780**）

補強ビス留付指定位置
補強ビスの留付位置は必ず遵守ください。

表　施工の可否及び補強ビスの必要有無

| 地表面粗度区分Ⅲ | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 建物高さ（m） | 基準風速 V0（m/s） | | | | | |
| | 30 | 32 | 34 | 36 | 38 | 40 |
| | | 札幌市<br>水戸市<br>静岡市<br>姫路市<br>など | 東京23区<br>名古屋市<br>大阪市<br>福岡市<br>など | 千葉市<br>徳島市<br>宮崎市<br>など | 木更津市<br>高知市<br>鹿児島市<br>など | 室戸市<br>枕崎市<br>指宿市<br>など |
| 30超 | 施工不可 | | | | | |
| 30 | 1162 | 1322 | 1493 | 1674 | 1865 | 2066 |
| 29 | 1147 | 1305 | 1473 | 1651 | 1840 | 2038 |
| 28 | 1131 | 1286 | 1452 | 1628 | 1814 | 2010 |
| 27 | 1114 | 1268 | 1431 | 1604 | 1788 | 1981 |
| 26 | 1098 | 1249 | 1410 | 1580 | 1761 | 1951 |
| 25 | 1080 | 1229 | 1388 | 1556 | 1734 | 1921 |
| 24 | 1063 | 1209 | 1365 | 1531 | 1705 | 1890 |
| 23 | 1045 | 1189 | 1342 | 1505 | 1677 | 1858 |
| 22 | 1027 | 1168 | 1319 | 1478 | 1647 | 1825 |
| 21 | 1008 | 1147 | 1294 | 1451 | 1617 | 1791 |
| 20 | 988 | 1124 | 1269 | 1423 | 1585 | 1757 |
| 19 | 968 | 1102 | 1244 | 1394 | 1553 | 1721 |
| 18 | 947 | 1078 | 1217 | 1364 | 1520 | 1684 |
| 17 | 926 | 1054 | 1189 | 1333 | 1486 | 1646 |
| 16 | 904 | 1028 | 1161 | 1301 | 1450 | 1607 |
| 15 | 881 | 1002 | 1131 | 1268 | 1413 | 1566 |
| 14 | 857 | 975 | 1101 | 1234 | 1375 | 1523 |
| 13 | 832 | 946 | 1068 | 1198 | 1335 | 1479 |

一般工法　補強工法　施工不可

※1　北海道、青森県、岩手県、秋田県、沖縄県および平成28年省エネ基準の1・2・3地域を除く地域。

# 12　センターサイディング補強工法

## 12－1　NS型ネオスパン（イソシアヌレート品）16m超え、30m以下の物件への施工

●地域　　：全国（ALCは地域限定※1）
●構造　　：MARCシステム（RC造、ALC（挿入筋構法・ロッキング構法））
●建物高さ：30m以下　基準風速に応じた施工可否については下表を参照
●外装材　：NS型ネオスパン（芯材：イソシアヌレートフォーム（HFO））限定
●通気胴縁：金属胴縁15
●補強ビス：Φ4．5㎜×25㎜（JK1780**）

補強ビスの基本留付位置

表　施工の可否及び補強ビスの必要有無

| 地表面粗度区分Ⅲ | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 建物高さ（m） | 基準風速 V0（m/s） | | | | | |
| | 30 | 32 | 34 | 36 | 38 | 40 |
| | | 札幌市<br>水戸市<br>静岡市<br>姫路市<br>など | 東京23区<br>名古屋市<br>大阪市<br>福岡市<br>など | 千葉市<br>徳島市<br>宮崎市<br>など | 木更津市<br>高知市<br>鹿児島市<br>など | 室戸市<br>枕崎市<br>指宿市<br>など |
| 30超 | 施工不可 | | | | | |
| 30 | 1162 | 1322 | 1493 | 1674 | 1865 | 2066 |
| 29 | 1147 | 1305 | 1473 | 1651 | 1840 | 2038 |
| 28 | 1131 | 1286 | 1452 | 1628 | 1814 | 2010 |
| 27 | 1114 | 1268 | 1431 | 1604 | 1788 | 1981 |
| 26 | 1098 | 1249 | 1410 | 1580 | 1761 | 1951 |
| 25 | 1080 | 1229 | 1388 | 1556 | 1734 | 1921 |
| 24 | 1063 | 1209 | 1365 | 1531 | 1705 | 1890 |
| 23 | 1045 | 1189 | 1342 | 1505 | 1677 | 1858 |
| 22 | 1027 | 1168 | 1319 | 1478 | 1647 | 1825 |
| 21 | 1008 | 1147 | 1294 | 1451 | 1617 | 1791 |
| 20 | 988 | 1124 | 1269 | 1423 | 1585 | 1757 |
| 19 | 968 | 1102 | 1244 | 1394 | 1553 | 1721 |
| 18 | 947 | 1078 | 1217 | 1364 | 1520 | 1684 |
| 17 | 926 | 1054 | 1189 | 1333 | 1486 | 1646 |
| 16 | 904 | 1028 | 1161 | 1301 | 1450 | 1607 |
| 15 | 881 | 1002 | 1131 | 1268 | 1413 | 1566 |
| 14 | 857 | 975 | 1101 | 1234 | 1375 | 1523 |
| 13 | 832 | 946 | 1068 | 1198 | 1335 | 1479 |

一般工法　補強工法　施工不可

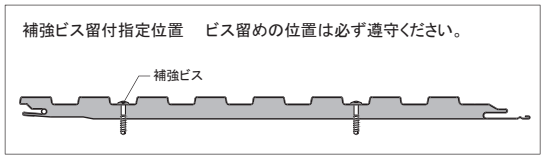
※1　北海道、青森県、岩手県、秋田県、沖縄県および平成28年省エネ基準の1・2・3地域を除く地域。

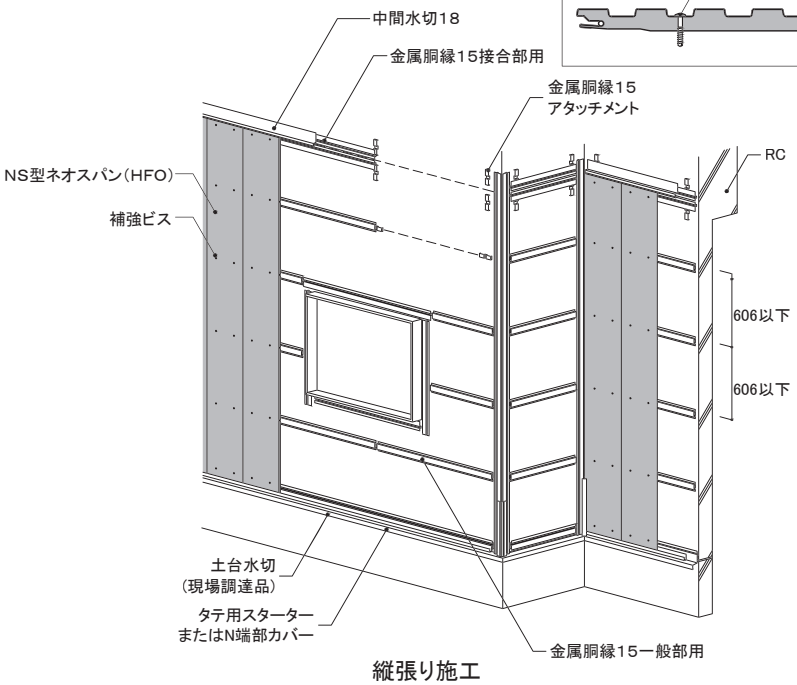
| NS型ネオスパン（イソシアヌレート品） | 下地・工法 | 留付方法 | 張り方向 | 胴縁組 |
|---|---|---|---|---|
| | RC造 金属胴縁工法 | ビス | 横・縦 | 606㎜以下 |

## 1）基本構成図　改訂のご案内

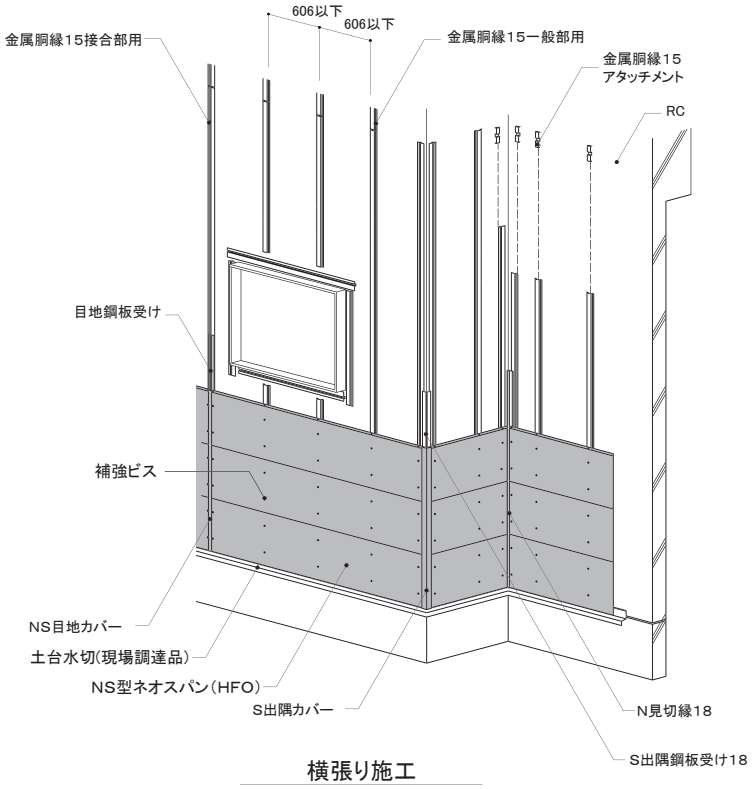
本ページ（P266）は、一部改訂のため、次ページ（P266-2）に更新しております。
最新の設計施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

16mを超え、30m以下の物件への施工（※）は、
●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。




縦張り施工



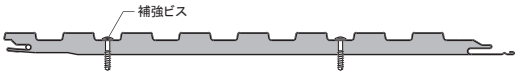

横張り施工

| NS型ネオスパン（ｲｿｼｱﾇﾚｰﾄ品） | 下地・工法 | 留付方法 | 張り方向 | 胴縁組 |
|---|---|---|---|---|
| | RC造 金属胴縁工法 | ビス | 横・縦 | 606㎜以下 |

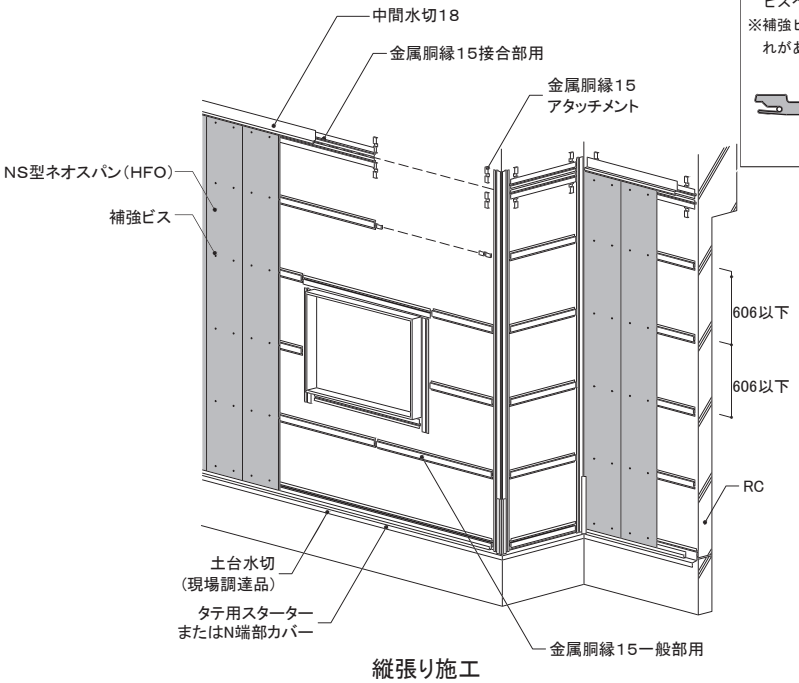
## 1）基本構成図

16mを超え、30m以下の物件への施工（※）は、
●NS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスまで施工してください。
●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

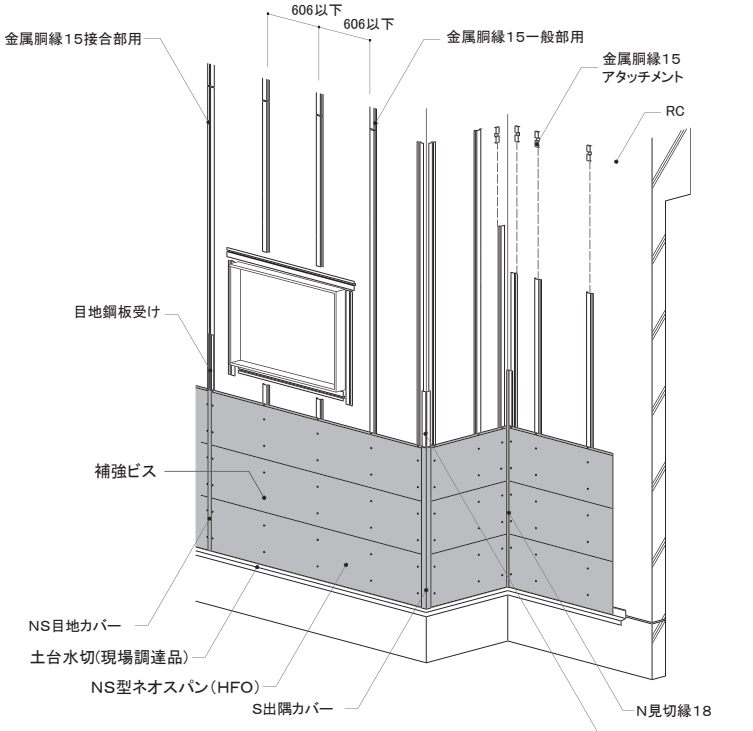
※補強工法ではNS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスを施工してください。先に一面を張り上げ、後から補強ビスを施工すると、下地が見えないため、打ち外しやアタッチメント固定アンカー、胴縁固定ビスへの干渉による施工不具合を招きます。
※補強ビスがアタッチメント固定アンカーや胴縁固定ビスにぶつかるおそれがある場合は、補強ビスの留め付け位置をずらして施工してください。




補強ビスの基本留付位置




縦張り施工




横張り施工

| NS型ネオスパン（イソシアヌレート品） | 下地・工法 | 留付方法 | 張り方向 | 胴縁組 |
|---|---|---|---|---|
| | RC造外断熱 金属胴縁工法 | ビス | 横・縦 | 600㎜以下 |

## 1）基本構成図　改訂のご案内

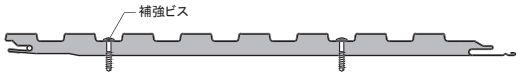
本ページ（P267）は、一部改訂のため、次ページ（P267-2）に更新しております。
最新の設計施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

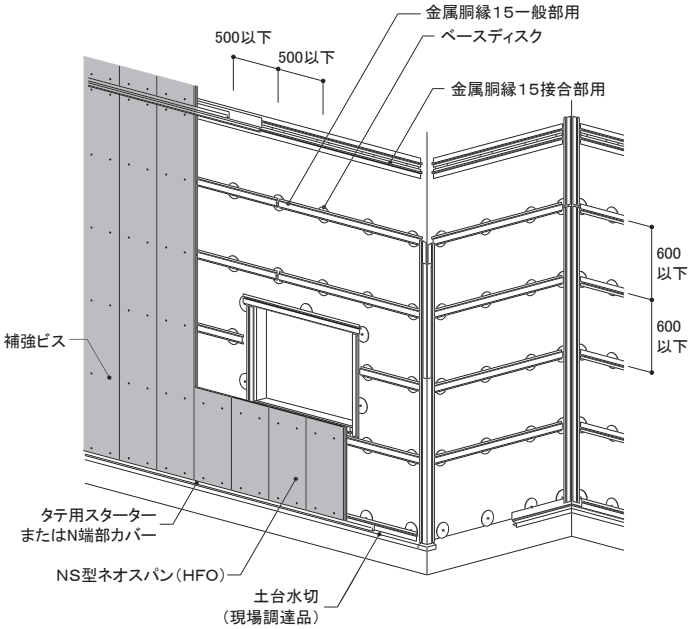
16mを超え、30m以下の物件への施工（※）は、

●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。
　始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

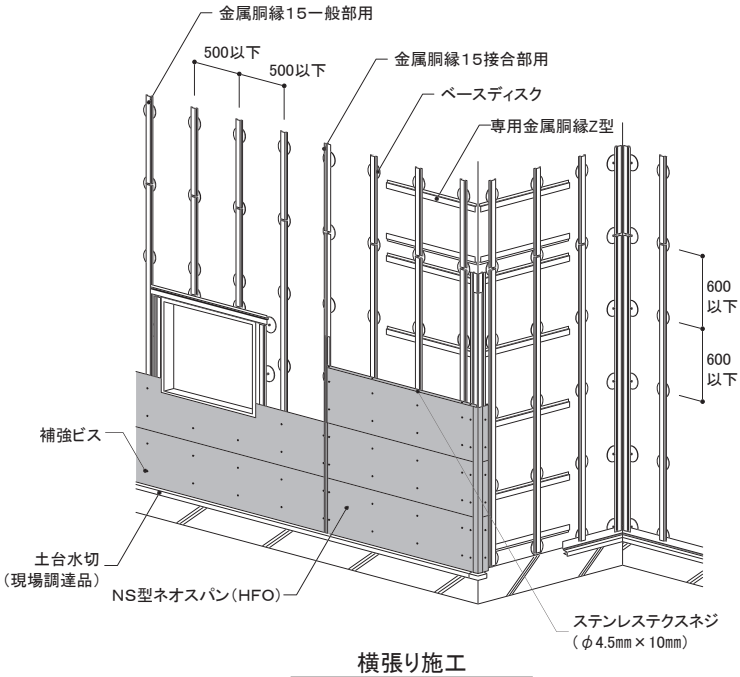
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

補強ビス留付指定位置　ビス留めの位置は必ず遵守ください。




縦張り施工




横張り施工

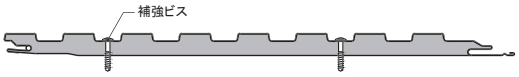
| NS型ネオスパン（イソシアヌレート品） | 下地・工法 | 留付方法 | 張り方向 | 胴縁組 |
|---|---|---|---|---|
| | RC造外断熱 金属胴縁工法 | ビス | 横・縦 | 600㎜以下 |

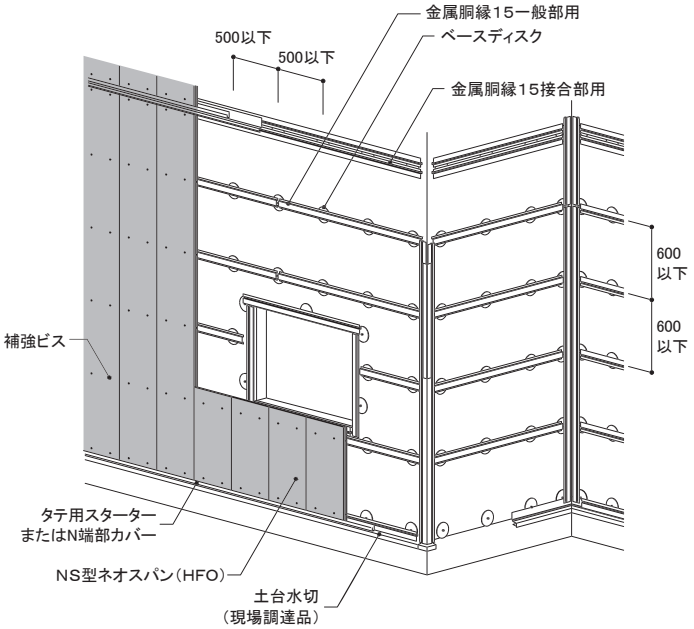
## 1）基本構成図

16mを超え、30m以下の物件への施工（※）は、
●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。
　始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

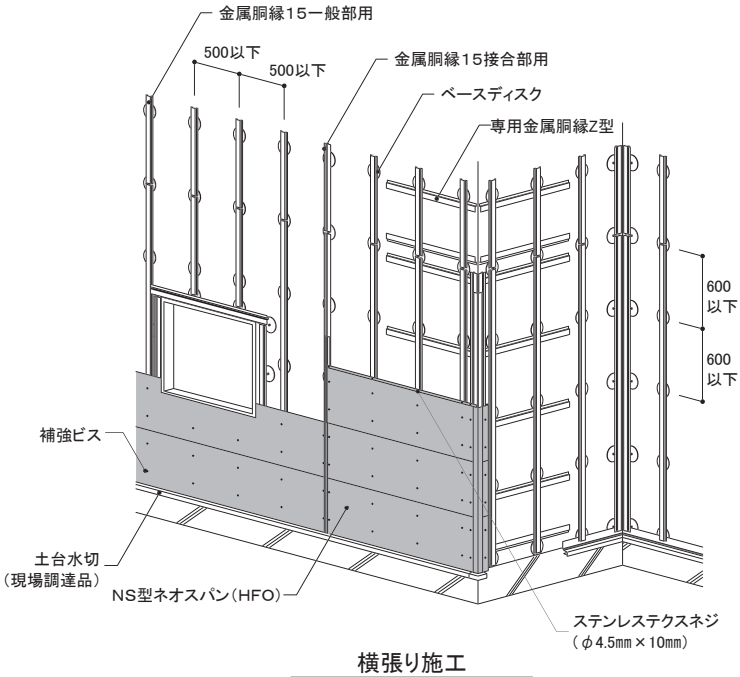
※補強工法ではNS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスを施工してください。先に一面を張り上げ、後から補強ビスを施工すると、下地が見えないため、打ち外しやアタッチメント固定アンカー、胴縁固定ビスへの干渉による施工不具合を招きます。
※補強ビスがアタッチメント固定アンカーや胴縁固定ビスにぶつかるおそれがある場合は、補強ビスの留め付け位置をずらして施工してください。

補強ビスの基本留付位置




縦張り施工



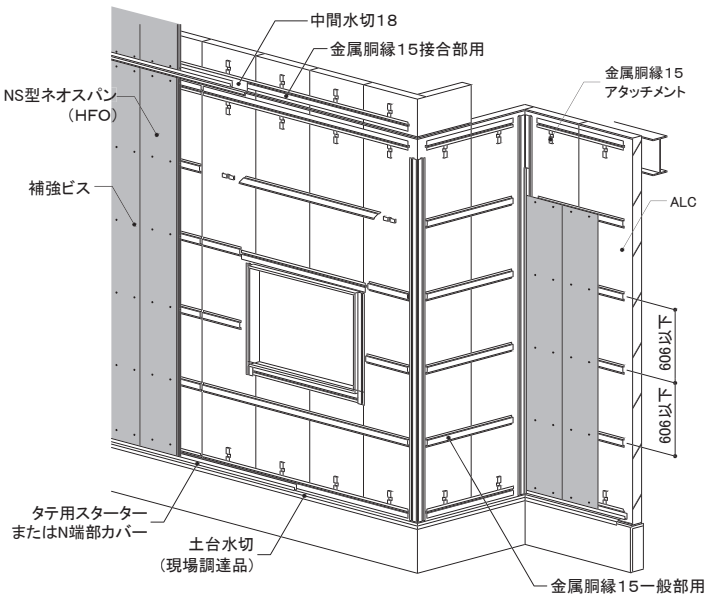

横張り施工

| NS型ネオスパン（ｲｿｼｱﾇﾚｰﾄ品） | 下地・工法 | 留付方法 | 張り方向 | 胴縁組 |
|---|---|---|---|---|
| | S造（ALC厚100㎜挿入筋・ﾛｯｷﾝｸﾞ）金属胴縁工法 | ビス | 横・縦 | 606㎜以下 |

## 1）基本構成図　挿入筋構法　改訂のご案内

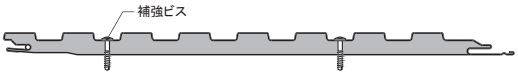
本ページ（P268）は、一部改訂のため、次ページ（P268-2）に更新しております。
最新の設計施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

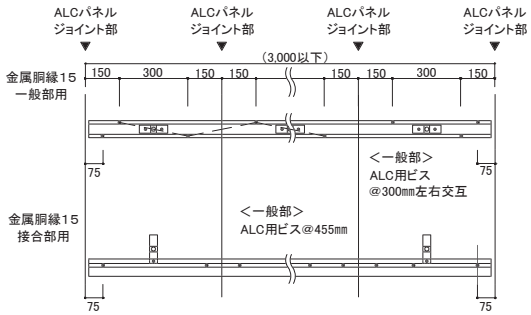
16mを超え、30m以下の物件への施工（※）は、
●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

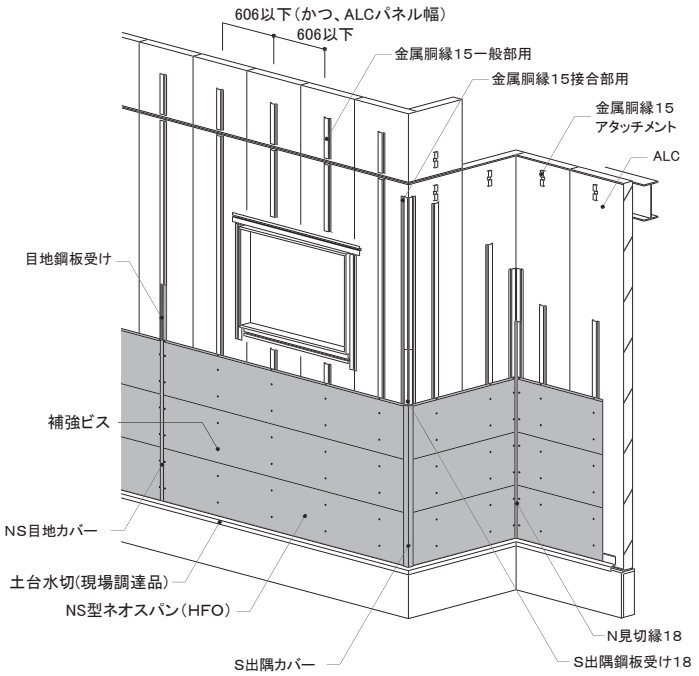



縦張り施工

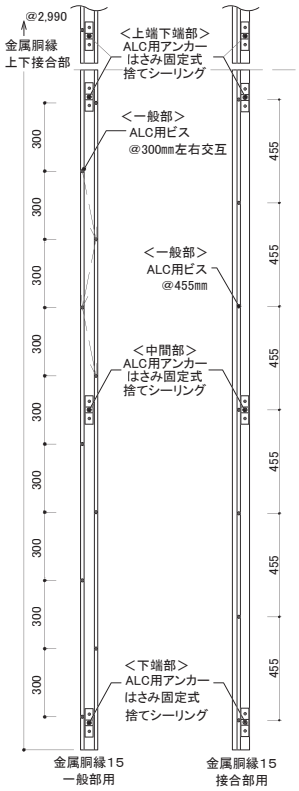
補強ビス留付指定位置　ビス留めの位置は必ず遵守ください。



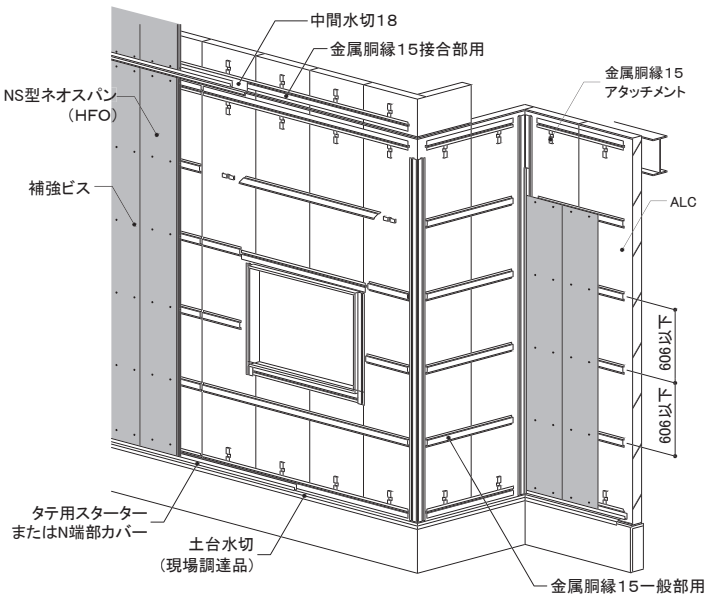

横張り施工



| NS型ネオスパン（ｲｿｼｱﾇﾚｰﾄ品） | 下地・工法 | 留付方法 | 張り方向 | 胴縁組 |
|---|---|---|---|---|
| | S造（ALC厚100㎜挿入筋・ﾛｯｷﾝｸﾞ）金属胴縁工法 | ビス | 横・縦 | 606㎜以下 |

## 1）基本構成図　挿入筋構法

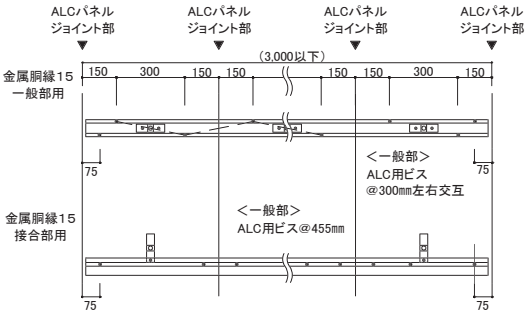
16mを超え、30m以下の物件への施工（※）は、
●NS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスまで施工してください。
●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください 。

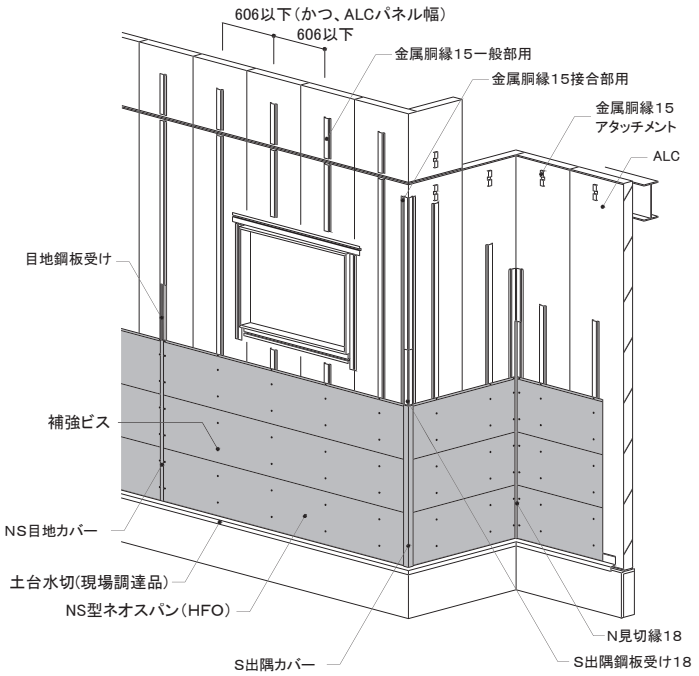



縦張り施工

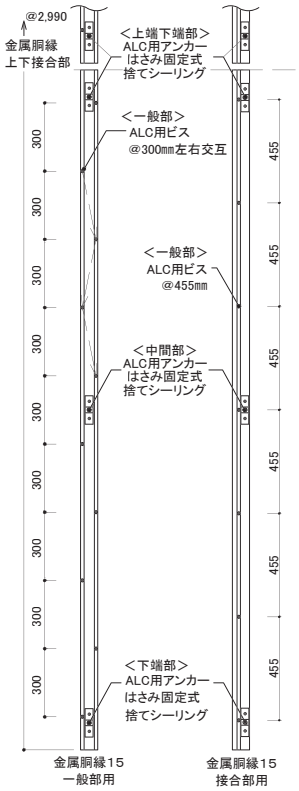
※補強工法ではNS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスを施工してください。先に一面を張り上げ、後から補強ビスを施工すると、下地が見えないため、打ち外しやアタッチメント固定アンカー、胴縁固定ビスへの干渉による施工不具合を招きます。
※補強ビスがアタッチメント固定アンカーや胴縁固定ビスにぶつかるおそれがある場合は、補強ビスの留め付け位置をずらして施工してください。

補強ビスの基本留付位置




横張り施工



| NS型ネオスパン（イソシアヌレート品） | 下地・工法 | 留付方法 | 張り方向 | 胴縁組 |
|---|---|---|---|---|
| | S造（ALC厚100mm挿入筋・ロッキング）金属胴縁工法 | ビス | 横・縦 | 606mm以下 |

## 2）基本構成図　ロッキング構法　改訂のご案内

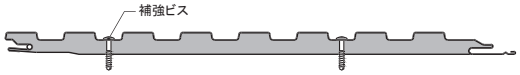
本ページ（P269）は、一部改訂のため、次ページ（P269-2）に更新しております。
最新の設計施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

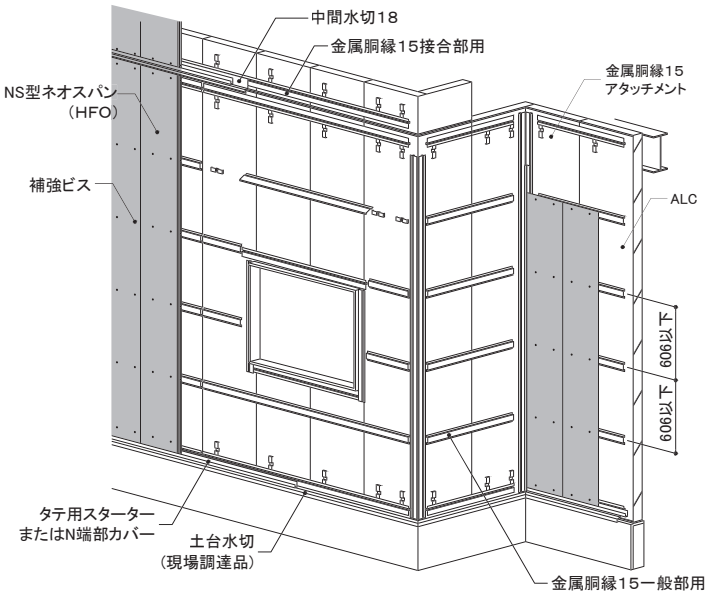
16mを超え、30m以下の物件への施工（※）は、

●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

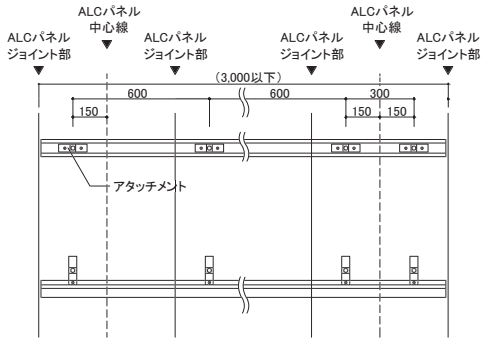
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

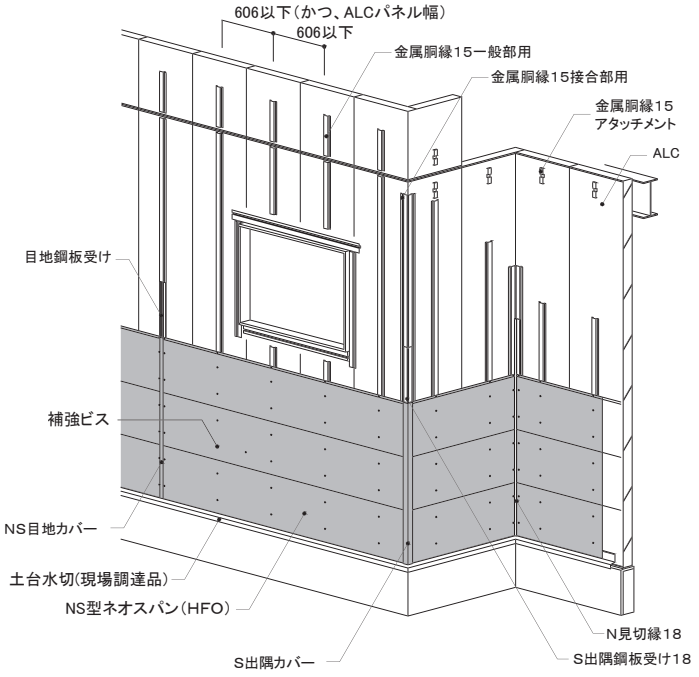
補強ビス留付指定位置　ビス留めの位置は必ず遵守ください。



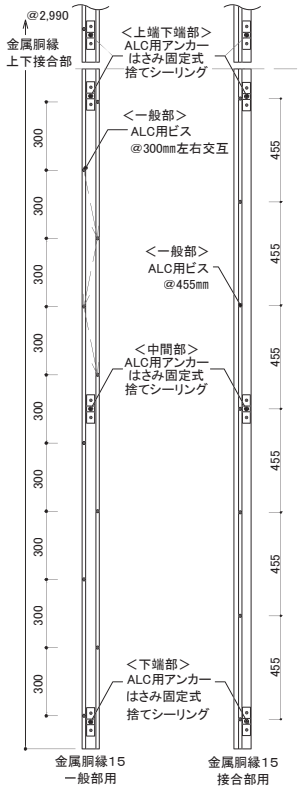




縦張り施工




横張り施工

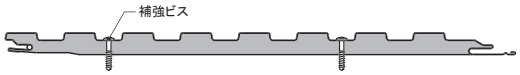


| NS型ネオスパン（イソシアヌレート品） | 下地・工法 | 留付方法 | 張り方向 | 胴縁組 |
|---|---|---|---|---|
| | S造（ALC厚100mm挿入筋・ロッキング）金属胴縁工法 | ビス | 横・縦 | 606mm以下 |

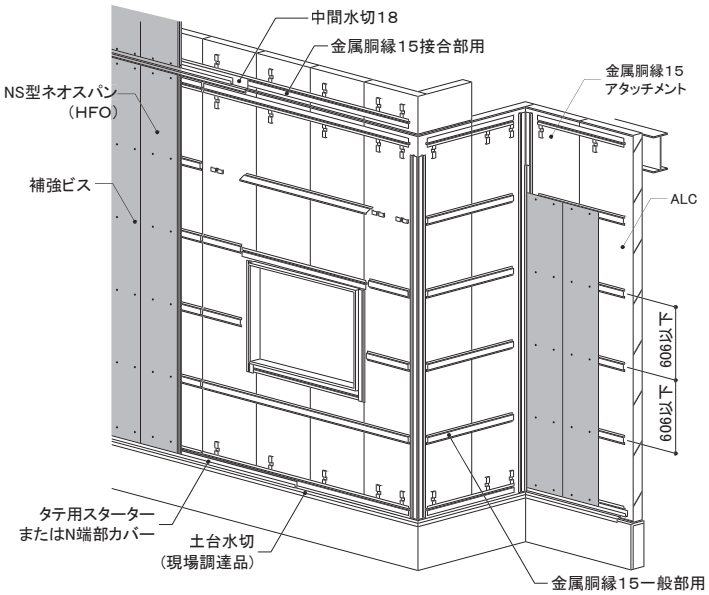
## 2）基本構成図　ロッキング構法

16mを超え、30m以下の物件への施工（※）は、
●NS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスまで施工してください。
●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

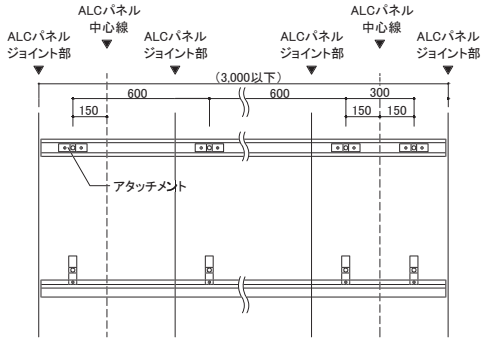
※補強工法ではNS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスを施工してください。先に一面を張り上げ、後から補強ビスを施工すると、下地が見えないため、打ち外しやアタッチメント固定アンカー、胴縁固定ビスへの干渉による施工不具合を招きます。
※補強ビスがアタッチメント固定アンカーや胴縁固定ビスにぶつかるおそれがある場合は、補強ビスの留め付け位置をずらして施工してください。

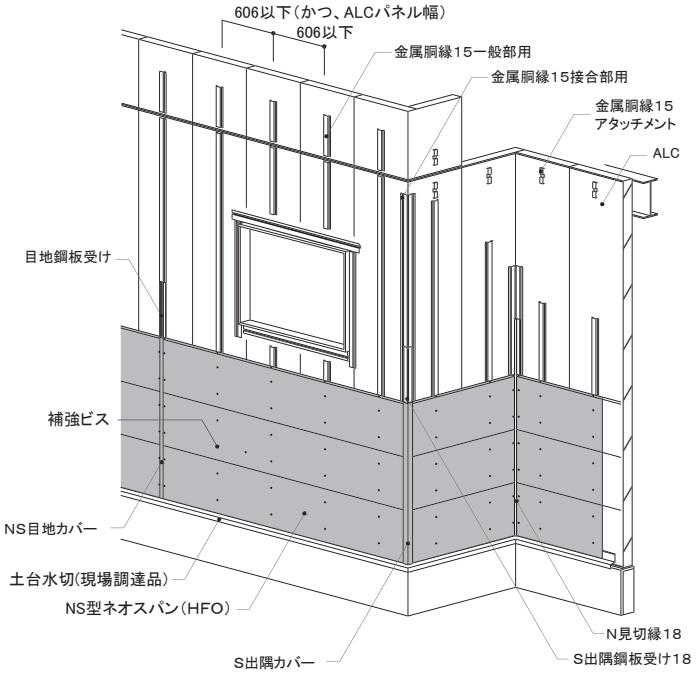


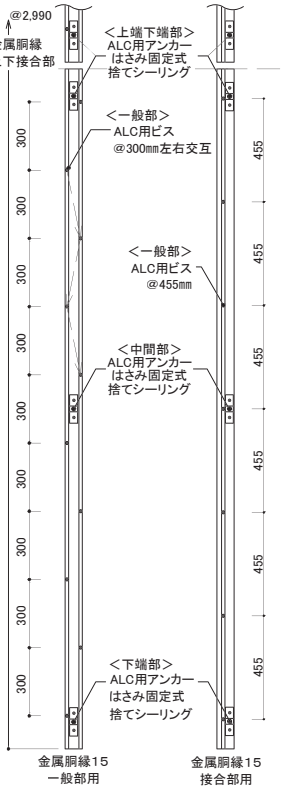

補強ビスの基本留付位置




縦張り施工




横張り施工